

土砂災害への備え（自助②）

土砂による災害

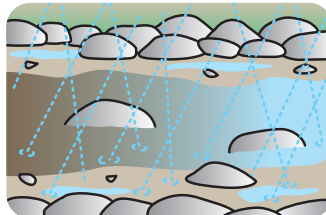
大きな地震や集中豪雨、長雨などで地盤がゆるむと土砂災害（土石流や地すべり、がけ崩れなど）が発生します。国や地方自治体では危険な箇所をあらかじめ想定し、様々な対策を行っていますが、土砂災害が心配される地域に住むみなさんが、危険をいち早く察知し、素早い行動につなげることが被害を軽減するうえで最も大切です。

土砂災害の前ぶれ（前兆現象）として、どんなことが起きるの？

土石流の前兆現象



①川の流れがにごり、流木が混じりはじめる

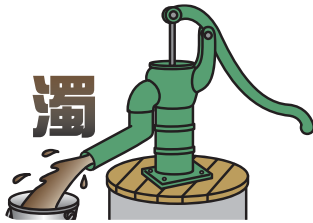


②雨は降り続けているのに川の水位が下がる

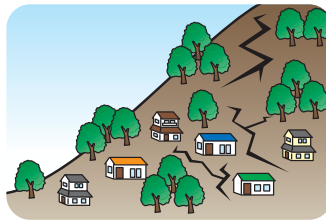


③山鳴りがする

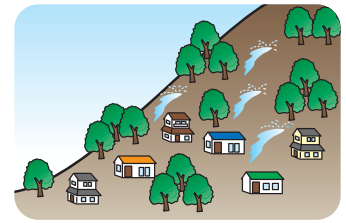
地すべりの前兆現象



①沢や井戸の水がにごる



②地割れができる



③斜面から水が噴き出す

がけ崩れの前兆現象



①がけから小石がパラパラと落ちてくる



②がけから水が湧き出ている



③がけに割れ目が見える

備えよう 土砂災害には、警戒情報と素早い行動、日頃からの備えが大切です

- ◆ ラジオやテレビ、地元を通じて「土砂災害警戒情報」を入手したら、いち早く避難しましょう。
- ◆ 「土砂災害警戒情報」が出ていなくとも、上記のような前ぶれに気付いたら、すぐに周りの人たちと安全な場所に避難し、自治体や警察、消防などに通報しましょう。（「無駄足でも構わない」くらいの気持ちで、すぐに避難しましょう）
- ◆ 早めの避難のためにも、日頃から「避難場所」や「避難経路」、近所の「危険箇所」を確認しておくことが重要です。